

# 保存版 保護者の皆様へ 登下校の見守りポイント

日頃から児童等の安全な通行の為、通学路での旗振り誘導にご協力いただき、誠にありがとうございます。児童と誘導する皆様の安全を守るために、ご活用いただければと思います。

ヒント  
6つあるよ！

## 【小学生の事故の特徴】

小学生になると、登下校中の際に友達とふざけたり話に夢中になるなど車などが来ている事に気が付かなくなり歩行中の「飛び出し事故」「横断中の事故」が急増します。登校する場合は時間に余裕をもって家を出るようにご指導お願いします。

また、遊びに出る場合は保護者に行き先を告げ、あまり遠くへ行ったり暗くなるまで遊んだりしないようご指導をお願いします。

各地区の細かい注意点、ポイントを愛護委員が指導いたします。  
新一年生に限らず旗当番が苦手な方も各地区の愛護にご連絡頂ければ指導いたします。  
旗当番に関して詳しく知りたい方は学校HPに資料を掲載していますのでご覧ください。

※こちらは保存版です。大切に保管してください



出典「西宮市交通安全対策課」

お子さんと一緒に考えてみて下さい

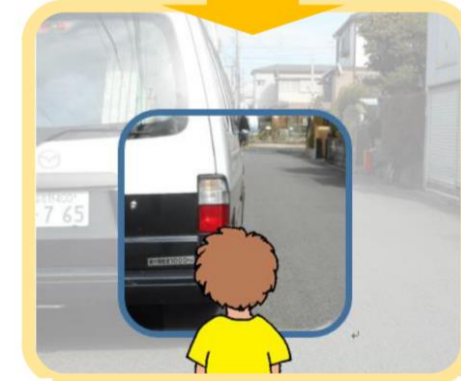
## 【子供の特徴】

- ☆特に低学年は大人よりも視野が狭く、視点も低い為、大人から見えている危険が子供には見えていない事が多い。
- ☆子供によって、危険予測能力や危険回避能力に差がある。



## 【誘導者の服装】

- ☆車から見やすい、目立つ服
- ☆動きやすいかかとの低い靴
- ☆雨の日はレインコート着用。ない場合は傘は透明の傘（周囲が確認しやすいよう）配慮する
- ☆手荷物はない状態、またはリュック等に両手を空ける



子どもが、危険に遭遇した時の回避能力は、大人が思っているほど発達していません。

## 【誘導者の立つ位置】

- ☆歩行者や自転車の妨げになる場所や、看板や電柱の陰になる場所は避け、自動車からよく見える位置に立ちましょう。車道にはでないようにします。
- ☆誘導者が1人の場合は子供が渡り始める側にたち、2人以上で行う場合は児童が待っている側が主導権を持ち合図を合わせ誘導する



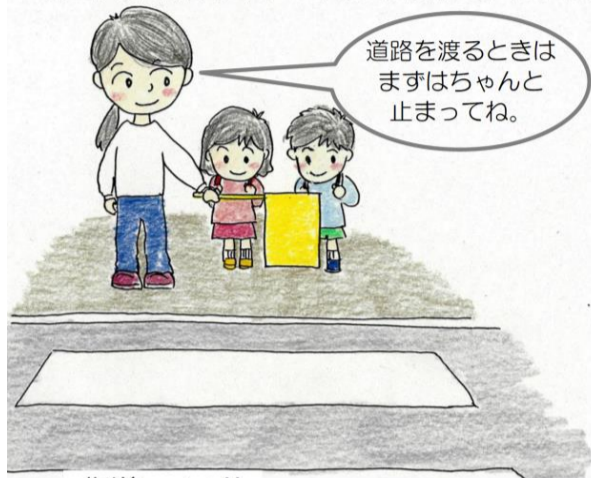
## 【自分自身のけがにも注意】

☆横断する子供が事故に遭わないようにするだけでなく  
自分自身も交通事故に遭わないように十分注意し行って下さい。

横断旗の使い方

1 児童を待たせる時

- ①横断旗を左手に持ち、道路に並行に上げ、児童が飛び出したりできないように持ちます。
- ②「道路の端から下がって待とうね。」と声をかけます。



指導 point!!



2 車に止まってもらう時

- ①左右や周囲の安全を確かめます。
- ②児童が飛び出さないように左手で抑えながら、横断旗を右手に持ち替えいったん頭上に上げてドライバーに合図します。
- ③左手で、児童が飛び出さないように抑えます。  
※車が停止しても、すぐに横断せず、完全に止まっていることを確認します。  
※車が止まらなかった場合は無理に止めず、通過車両がなくなるまで待ちます。



車が並んでしまったり  
児童がたまって慌てない

信号のない場所では  
「車両等の途切れ目をうまく捉えて最も安全に横断させること」に重点を置いて行いましょう

信号のサイクル（青信号の長さ（秒）など事前に確認しておきましょう

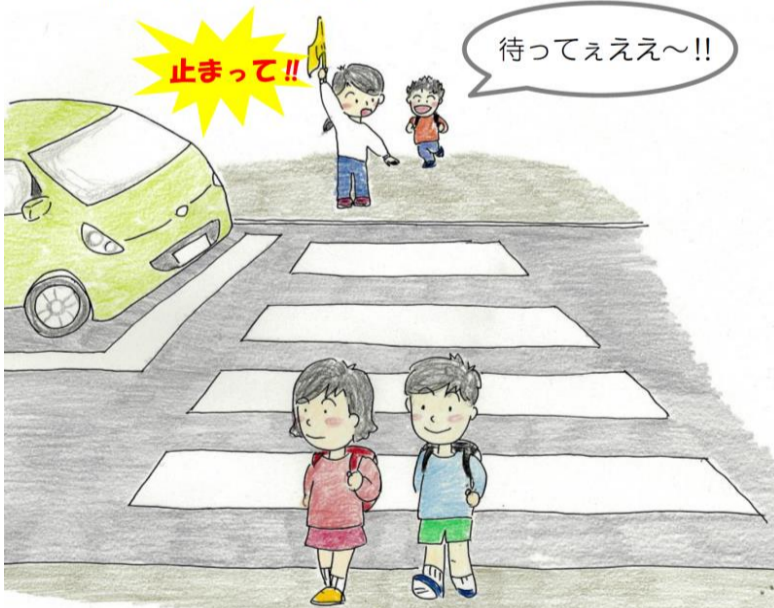
3 児童を横断させる時

- ①車が止まってくれたら、もう一度安全を児童と一緒に確かめます。  
※すり抜けてくる自転車やバイクに注意しましょう。
- ②横断旗を車道に並行に出し、児童を渡らせませす。
- ③「左右の安全確認をしましょう。」  
「手を大きく上げましょう。」  
「車が曲がって来ないか見ましょう。」と指導します。



4 児童が横断し終わったら

- ①児童が渡りきったら、右手の横断旗を頭上に上げてから左手に持ち替えて、後から来る児童を抑えます。  
※児童に旗をぶつけないように注意しましょう。
- ②協力してくれたドライバーに、会釈するなどして感謝の気持ちを伝えましょう。



横断旗には車を停める強制力はありません。  
交通ルールを無視しこれに従わない者もいることを念頭において行いましょう。

停止している車の陰から走ってくる  
バイクや自転車に注意

信号がかわりそうな時は早めに児童を止めて横断させないようにしましょう。

青の点滅信号で児童を渡らせてはいけません。

子供を手招きしたり急いで渡らせないようにしましょう。

朝の出勤時間は、ドライバーにとっても貴重な時間です。  
協力してくれたドライバーに会釈するなど感謝の気持ちを伝えましょう。